

監査報告書

平成30年5月23日

社会福祉法人 春秋会

理事長 澁川 壽彦 殿

監事 東南 公雄



監事 三木 隆嗣



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

但し

- (ア) 支給要件認識不足のため職場定着支援助成金（補助金）が確保できなかった点。
- (イ) 1階浴室他改装工事において、事業変更があったにもかかわらず、事業変更及び予算補正を理事会及び評議員会の決議なしに執行し、事後処理とした点。

この2点はいずれも不適切である。

また、経営の基盤となる特別養護老人ホームの未入所者数が増加している。入所者の確保に努められたい。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上